



～道德通信「さくら moral education」第1弾～

創立150周年・特認校20周年「つなぐ・感謝」

令和7年度がスタートしました。今年度は創立150周年・特認校20周年と、記念の年でもあります。これまでの先輩方や保護者・地域の皆様方，教職員の想いを大切に受け継いでいながら，“現在の城山西小”をよりよい形で残していきたいと思っています。皆様のご理解とご協力を，どうぞよろしくお願いいたします。

【本校の道德教育重点課題】親切・思いやり

本校の道德教育重点課題は，城山地域学校園の重点課題でもあります。小・中で連携し，小学校で学んだ道徳的な価値観や態度を継続的に発展させていくことを目指しています。そのためにも，小学校の道德教育で，よりよく生きるための基礎となる道徳性を発達段階に応じながら丁寧に育てていくことが大切です。そこで，児童の実態や各種調査結果等から，

1・2年…「規則の尊重」 3・4年…「友情・信頼」 5・6年「よりよい学校生活・集団生活の充実」

をブロック重点課題とし，

- ①低学年で，社会（学校）生活での規則を尊重する気持ちや態度を育て，
- ②中学年で，規則を尊重しながら，よりよい友達とのかかわり方を身に付け，
- ③高学年で，規則を尊重しつつ，友達や下級生とのかかわりの中で，よりよい学校集団生活を行えるようにする。

ということを目指しました。（下図がそのイメージです）



よりよい学校生活・集団生活の充実

友 情 ・ 信 頼

規 則 の 尊 重

親 切 ・ 思 い や り

特に，今年度は周年記念の合言葉でもある「つなぐ・感謝」を念頭に，これまでの先輩から受け継いできた想いをつなぎ，また感謝の気持ちを常にもちながら，学校生活をよりよく過ごしていけるように励まし，支えていこうと思っています。どうぞ，皆様方も，子供たちに温かいまなざしで（ときには厳しい目で），温かい励ましや支援をお願いいたします。

学校での取組を紹介します！



日頃の道徳教育について、学校ではどのような活動や取組を行っているのか、道徳科の授業での児童の様子は、など、道徳通信を通して皆様にお伝えしていきます！

道するタイム

毎月第4金曜日の朝の時間に、「道するタイム」と称し、テーマに基づいた話し合いを行っています。これは、本校児童の実態から、「一人一人が自分の考えをもち、話したり、聴いたりすることができるようにする」ことをねらいとしています。道徳的なテーマはもちろんですが、日常的な話題を取り上げたテーマもあり、「話す」ことに躊躇せず、気軽に自分の考えを話せるようにしています。そのとき、教師はファシリテーターとなって児童同士が話を盛り上げられるような雰囲気づくりをします。そうすることで、道徳の授業の中で、自分の意見をどんどん話し、また、相手の話を最後までしっかりと聴く姿勢を培いながら、様々な考え方を受け入れて、多面的・多角的な考え方が身に付いていくと考えています。

ご家庭や地域行事等でも、子供たちが言いたいことを察して先に「こうしたいの？」と話してしまうのではなく、自分の口で考えや思いを伝えられるように「待ち」（気の長いことかもしれませんが）、「伝えられた！」という満足感をもてるようにして、語彙力を培ったり、自分の考えに自信がもてたりできるように育てていただけたらと思います。学校と家庭と地域が一体となって、子供たちと一緒に育んでいきましょう！どうぞよろしくお願いいたします。

